

40歳代から考えるライフプランセミナー
令和2年10月3日(土) 埼玉県県民健康センター

荻原 博子 氏

経 済 ジャ ー ナ リ ス ト



埼玉県マスコット
さいたまっち&コバトン

借金減らして
現金増やせ!



明日につながるマネー講座～お金と生活と未来の話～

今現在コロナ禍で大変な世の中になっていますが、止まない雨はない、明けない夜はない、いずれ元に戻ります。今が辛抱の時期だと思います。そのような中で、今後どのように物事を見ていったらいいのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

老後 2000 万円問題 足りないは本当か？

皆さん一番心配なのは少し前の 2000 万円問題。老後の生活費が不足するというのですが、当初は 2000 万円足りなくなるので投資をしましょうという話でした。試算では生活費として1カ月 27 万円かかるころ、年金が平均 22 万円です。その差が 5 万円ということですが、本当に足りないのでしょうか？

定年後年金で暮らしている方々は、恐らく住宅ローンは終わっている、子供は独立して社会人として稼いでいるケースがほとんどだと思います。そう考えると月々の生活費 27 万円は本当に必要でしょうか？年を重ねれば食費も押さえられてきます。要は生活費が縮まればいいのです。年金の範囲でやりくりしましょう。確かに将来的に年金が減っていくという話も聞きますが、制度としてすぐに減ることはありません。

「介護」と「医療」 老後の 2 大不安は貯金で解決！

ただし、老後の不安は生活費だけではありません。皆さん、老後の2大不安は何だと思いますか？それは介護と医療(病気)です。いったいいくらかかるのだろうと、とても心配ですよね。でもこの2大不安に対しても、心づもりをしていればある程度安心は得られます。

まずは医療です。TV では医療保険の CM が不安をあおります。例えば病気で入院して治療費が 100 万円かかった場合、「健康保険の自己負担が3割だから 30 万円負担するの？」と思いますが、高額療養費制度というものがあります。どんなに治療費がかかっても現役世代では自己負担9万円程度で済みます。30 万円の自己負担でも 21 万円は戻ってくる。この制度は家族でかかった医療費を合算できます。年を取っていくと何かと不安ですが、医療費として夫婦2人で 200 万円くらい見当をつけておけば大丈夫です。



次は介護です。昔から介護にはお金がかかると言われてきましたが、今は介護保険があります。実際介護した方々にインタビューすると、5年間寝たきりでも平均で 500 万円程度の費用ということでした。今は介護を必要としない元気でピンピンした高齢の方もいっぱいいらっしゃいますが、念のため介護費用として 1 人 500 万円とっておきましょう。老後は皆さん不安ですが、このように順序立てて考えていくと介護費用が夫婦 2 人で 1000 万円、医療費で 200 万円、さらにお墓のことなどプラスアルファを合わせて 1500 万円あればなんとかなります。サラリーマンの退職金と大体同額です。退職金は手を付けずに銀行に預けておくとか、いざとなったら持ち家を売却して賃貸で暮らすとか、とにかく 1500 万円を確保しておきましょう。

貯金の前に「借金減らせ」

貯金は大切です。しかし、その前にやらなくてはいけないことがあります。それはローンを減らすことです。私はバブルがはじけてから言い続けていることがあります。「借金減らして、現金増やせ」です。よく銀行に預けておいても利息は付かないし増えないからと、投資信託や株、マンションやアパート経営に向かう方がいらっしゃいますが、素人は損をするほうが多いのが現実です。デフレ下では現金が最強です。バブルがはじけてから日本企業はこれを実践してきました。皆さんの家計も同じことです。なるべく早くローンを返済して貯金を増やしていきましょう。

1500万円の貯金 そして生活は？

とにかく年金の範囲内で生活を立て、1500万円はいざというときに取っておく。あとは楽しく暮らしていく方針を取りましょう。「どうやって年金で暮らしていくんだ？」「節約しても無理」という方も多くいらっしゃいます。しかし、本当に節約していますか？まずは夫婦で「ウチの家計はいくらかかっているのか？」1枚の紙に書き出してみてください。家計のスリム化は夫婦で取り組むことが大切です。

例えば保険です。一般的に皆さんが加入している保険は、死んだらお金が下りるか病気で入院したらお金が下りるものです。もし仮にお父さんが亡くなったら、奥さんに遺族年金が支払われます。住宅ローンは団体生命保険がありますのでゼロになります。医療については冒頭の高額療養費制度などを使えば問題ありません。特に保険に入らなくても何とかなりそうです。しかし、教育費だけは別です。今、子供1人を大学まで行かせると1000万円かかると言われています。これだけはお母さん1人では賄えない。この教育費については保険をかけておいたほうがいいですね。家計のスリム化をするのなら、一度ご自分の加入している保険を確認することをお勧めします。必要以上に保険に入る必要はありません。気を付けなければいけないのが、20年以上前に入った保険。運用利回りがよく貯金になる可能性もありますので、必ず保険会社に確認をしてください。



今、子供1人を大学まで行かせると1000万円かかると言われています。これだけはお母さん1人では賄えない。この教育費については保険をかけておいたほうがいいですね。家計のスリム化をするのなら、一度ご自分の加入している保険を確認することをお勧めします。必要以上に保険に入る必要はありません。気を付けなければいけないのが、20年以上前に入った保険。運用利回りがよく貯金になる可能性もありますので、必ず保険会社に確認をしてください。

借金減らして現金増やせ シニアライフを楽しく過ごすために

今は死ぬリスクより長生きするリスクのほうが大きいです。ある程度の現金を持っておいたほうがいいのです。それと注意しなければいけないことが投資です。余分なお金がある方は投資をしても構いませんが、なけなしのお金を投資にまわすのは止めたほうがいいです。投資が好きではない人が投資をするとハラハラドキドキして寿命が縮まります。プロは損切りができますが、素人は値が下がっても、いつまでも持ち続けていて損をします。余剰金のない方は止めましょう。

繰り返しますが、1500万円は貯金して、あとは好きなことをやって楽しく過ごしましょう。それと体が動くうちは働くことです。社会に出て人と交われば成長します。ボランティアもいいでしょう。人から感謝されますし、人間性が豊かになります。お金の心配をしないようにして、人から感謝される、人と一緒に歩いていく。これができるれば「黄金の人生」になるんじゃないかと思います。

最後に今日はこれを覚えてくださいね。「借金減らして、現金増やせ」です。ありがとうございました。（終わり）